

田邊領一 田邊領一

たなべ・りょういち たなべ・りょういち

福山誠之館校長(第15代)

経歴

生: 明治22年(1889年)12月21日、広島県比婆郡山内東村生まれ

没: 昭和36年(1961年)9月23日、享年73歳

略歴

明治39年(1906年)4月1日	16歳	広島県師範学校本科第一部入学
明治43年(1910年)3月25日	20歳	広島県師範学校本科第一部第四学年卒業
明治43年(1910年)4月1日	20歳	東京高等師範学校本科地理歴史部入学
大正3年(1914年)3月31日	24歳	東京高等師範学校本科地理歴史部卒業
大正3年(1914年)3月31日	24歳	大分県師範学校教諭兼訓導
大正5年(1916年)4月1日	26歳	東京高等師範学校研究科教育科入学
大正5年(1916年)7月19日	26歳	東京高等師範学校退学
大正5年(1916年)7月19日	26歳	群馬県北甘楽郡立実科高等女学校教諭
大正7年(1917年)5月7日	28歳	広島県双三郡立技芸女学校教諭
大正7年(1917年)8月21日	28歳	(兼務)広島県双三郡立技芸女学校舎監
大正8年(1918年)11月11日	29歳	広島県尾道市立高等女学校教諭
昭和11年(1936年)3月31日	46歳	広島県立上下高等女学校校長兼教諭
昭和15年(1940年)3月30日	50歳	広島県立忠海高等女学校校長兼教諭
昭和17年(1942年)3月31日	52歳	広島県立福山高等女学校校長兼教諭
昭和17年(1942年)8月19日	52歳	勲五等瑞宝章
昭和21年(1946年)3月20日	56歳	広島県立福山誠之館中学校校長兼事務取扱
昭和23年(1948年)5月3日	58歳	広島県福山誠之館高等学校長事務取扱就任
昭和24年(1949年)4月30日	59歳	退任(在任3年1ヶ月)

関係年表

昭和21年(1946年)10月8日	「勅語」および「詔書」等の取扱について通達
昭和21年(1946年)11月3日	「日本国憲法」公布

昭和22年(1947年)2月5日	文部省、新学制実施方針を発表
昭和22年(1947年)3月31日	「教育基本法」・「学校教育法」公布
昭和22年(1947年)4月1日	新学制による小学校および中学校発足
昭和23年(1948年)1月27日	「高等学校設置基準」制定
昭和23年(1948年)5月3日	「福山誠之館高等学校」発足
昭和23年(1948年) 10月22日～24日	「高校発足、グラウンド落成、創立九十五年記念祭」挙行
昭和24年(1949年)4月30日	高校再編成実施、本校は「広島県福山東高等学校」となる

生い立ちと学業、業績

「事績・業績」

「当時の日本は、連合軍の占領下にあり、きびしい条件のもと、民主教育体制の確立と教育改革の実現が急がれた。このような情勢の中で、田邊領一校長は校内教育の民主化を進めると共に、旧制中学校をどのようにして新制高等学校に転換して行くかについて努力をかたむけた。」(『誠之館百三十年史・上巻』、1190頁)

校長が教職員の人事にどう関わっているかはそれぞれ場合があるだろうが、この校長は「旧制」から「新制」への移行時の教職員人事の責任者であった。昭和24年(1949年)5月7日、既に退任が決定しているこの校長によって、職員の人事異動の発表が行われた。「高校再編成の大嵐で県下の高校長は、1, 2の者を例外としてほとんどの者が任地を変ってしまった。校長ばかりでなく、一般の教職員も寝て起きてみたら勤務校が変わっていたというありさまで誰も彼も啞然とした。」(『広島県中等学校教育百年の回顧』数田猛雄)

本校においては、福山東高校教員39名中昭和23年度に誠之館高校に在籍した教員は12名に過ぎない。いかに広範囲に人事異動が行われたかがわかると同時に、こういう動乱期の校長の苦労が強い共感を持って思われるのである。

この校長の時代の特記事項として2つのことを挙げておく。1つは校章の制定である。

中学校から高等学校へ移るので、新しい校章の図柄を生徒から募集した。昭和23年(1948年)の3月ごろである。応募者を教室に集め、各人の考えた図案を黒板に描かせ、その中から選定するという方法がとられた。この時選ばれた生徒案に当時の美術担当教員が手を加え、校章にデザインしたのが、現在の校章である。阿部家の家紋に「高」の字を重ねたものであるが、あの旧誠之館との絶縁を本気で議論した福山東高時代にも校章を変える提案は現れていない。選定の手順が民主的であったからであろうか。

1つは第1回記念祭のことである。関係年譜にある通り、昭和23年(1948年)10月22日創立記念祭が3日間にわたって挙行された。来賓として県知事代理などの出席もあったようで、当

時においては相当大きな行事であった。実は翌昭和24年(1949年)10月行われた記念祭を東高校発足第1回記念祭としたために以後の記念祭が第何回か混乱したときもあるが、現在ではこの昭和23年(1948年)に行われた記念祭を第1回と数えることになっている。

その後福山東高校を経て、誠之館高校へと続くわけだが、この校長の時代に誠之館中学と誠之館高校をつなぐいくつかの施策があったことを記しておく。 松岡義晃(昭和28年卒)

関連情報1:『誠之館百三十年史(上巻)』、1190頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

関連情報2:『誠之館百三十年史(下巻)』、23頁、福山誠之館同窓会編刊、平成元年3月31日

2004年11月1日更新:経歴●2005年4月6日更新:本文・関連情報●2006年3月28日更新:本文●2007年7月23日更新:経歴●2008年4月28日更新:経歴●